

月 日 名前 (**解答例**)

1 253と532の大きさをくらべます。どちらのくらべ方が正しいですか？

$\begin{array}{ccc} 253 & \text{vs} & 532 \\ \uparrow & & \uparrow \end{array}$ <p>小さな位から、くらべる。</p>



$\begin{array}{ccc} \underline{2}53 & \text{vs} & \underline{5}32 \\ \uparrow & & \uparrow \end{array}$ <p>大きな位から、くらべる。</p>

比べる位に下線を引くとよいです。

2 □に不等号 (<か>) を書きましょう。

① $1 \underline{0} 9 < 1 \underline{9} 1$	② $\underline{4} 5 3 < \underline{5} 4 3$	③ $2 \underline{0} 5 < 2 \underline{5} 0$
④ $6 \underline{6} 7 < 6 \underline{7} 6$	⑤ $\underline{4} 3 1 > \underline{\quad} 4 5$	⑥ $\underline{\quad} 7 7 < \underline{7} 1 4$
⑦ $\underline{4} 6 2 5 > \underline{3} 6 5 2$	⑧ $5 2 \underline{3} 7 < 5 2 \underline{7} 3$	⑨ $9 0 8 \underline{6} < 9 0 8 \underline{9}$



ぼくはくいしんぼう！大きな数の方に口をあけて食べちゃうよ！

3 学力調査の問題に挑戦！

下の①と②について、それぞれ2つの数の大小を比べて、□に入る不等号を書きましよう。	
① $\underline{7} 5 > \underline{2} 5$	② $1 \underline{0} 4 < 1 \underline{1} 2$
H28-G2A・G3A	

月 日 名前 (**解答例**)

1 201 - 9を筆算で計算します。どちらの計算のしかたが正しいですか？

$$\begin{array}{r} 201 \\ - 9 \\ \hline 208 \end{array}$$

ふつうに一の位から計算します。



$$\begin{array}{r} 9 \\ 1 \cancel{0} 10 \\ 201 \\ - 9 \\ \hline 192 \end{array}$$

一の位はひけないので、百の位、十の位からくり下げてきます。

線り下がりが必要かどうか確かめてから筆算しましょう。

2 筆算で計算しましょう。

① 302 - 8	② 407 - 5	③ 503 - 7
$\begin{array}{r} 9 \\ 2 \cancel{10} 10 \\ 302 \\ - 8 \\ \hline 294 \end{array}$	$\begin{array}{r} 407 \\ - 5 \\ \hline 402 \end{array}$	$\begin{array}{r} 9 \\ 4 \cancel{10} 10 \\ 503 \\ - 7 \\ \hline 496 \end{array}$

筆算の仕方を唱えながら計算してみましょう。

3 学力調査の問題に挑戦！

筆算で計算しましょう。	
<p>① 806 - 9</p> $\begin{array}{r} 7 \cancel{10} 10 \\ 806 \\ - 9 \\ \hline 797 \end{array}$ <p style="text-align: center;">答え (797)</p>	<p>② 905 - 8</p> $\begin{array}{r} 8 \cancel{10} 10 \\ 905 \\ - 8 \\ \hline 897 \end{array}$ <p style="text-align: center;">答え (897)</p>
H23-G3A	H28-G3A

月

日

名前

解答例

1 5.6 + 3を計算します。どちらの計算のしかたが正しいですか？

$$\begin{array}{r} 5.6 \\ + 3 \\ \hline 8.6 \end{array}$$

位をそろえて計算



たし算やひき算の学習では、位を意識するようにしましょう。

$$\begin{array}{r} 5.6 \\ + 3 \\ \hline 5.9 \end{array}$$

右にそろえて計算

2 筆算で計算しましょう。

① 1.2 + 7	② 5 + 4.3	③ 7.9 + 2
$\begin{array}{r} 1.2 \\ + 7 \\ \hline 8.2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \\ + 4.3 \\ \hline 9.3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 7.9 \\ + 2 \\ \hline 9.9 \end{array}$

3 学力調査の問題に挑戦！

筆算で計算しましょう。

① 10.3 + 4

$$\begin{array}{r} 10.3 \\ + 4 \\ \hline 14.3 \end{array}$$

答え (14.3)

月 日 名前 (**解答例**)

1 9.7 × 4 を計算します。どちらの計算のしかたが正しいですか？

$$\begin{array}{r} 9.7 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

位をそろえて計算



$$\begin{array}{r} 9.7 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

右にそろえて計算

2 筆算で計算しましょう。

① 4.3 × 3	② 1.2 × 7	③ 12.6 × 3
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; font-size: 0.8em;">小数点の動きを正しくマスターしましょう。</div>	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; font-size: 0.8em;">「小数点をおろす」とは違います。注意しましょう。</div>	
$\begin{array}{r} 4.3 \\ \times 3 \\ \hline 12.9 \end{array}$	$\begin{array}{r} 1.2 \\ \times 7 \\ \hline 8.4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 12.6 \\ \times 3 \\ \hline 37.8 \end{array}$

3 学力調査の問題に挑戦！

筆算で計算しましょう。	
<p>① 13.9 × 7</p> $\begin{array}{r} 13.9 \\ \times 7 \\ \hline 97.3 \end{array}$ <p style="text-align: right;">答え (<b style="color: red;">97.3)</p>	<p>② 90 × 0.7</p> $\begin{array}{r} 90 \\ \times 0.7 \\ \hline 63.0 \end{array}$ <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; font-size: 0.8em; margin-top: 5px;">63.0, 63. ではありません。</div> <p style="text-align: right;">答え (<b style="color: red;">63)</p>
H26-G4A	H29-G4A

月 日 名前 (

解答例

)

1 $5 + 4 \times 3$ も計算をします。どちらの計算のしかたが正しいですか。

$$5 + 4 \times 3 = 5 + 12$$

$$= 17$$

たし算とかけ算なら、かけ算を先に。



$$5 + 4 \times 3 = 9 + 3$$

$$= 12$$

左からじゆんに計算する。

途中の計算を書くようにしましょう。「=」は縦にそろえるとよいです。

2 計算しましょう。

$$\textcircled{1} \quad 60 \times 2 - 80 = 120 - 80$$

$$= 40$$

$$\textcircled{2} \quad 6 \times 8 - 4 \div 2 = 48 - 2$$

$$= 46$$

$$\textcircled{3} \quad 150 - 50 \div 2 = 150 - 25$$

$$= 125$$

3 学力調査の問題に挑戦!

計算しましょう。

$$\textcircled{1} \quad 100 - 20 \times 4$$

$$100 - 20 \times 4 = 100 - 80$$

$$= 20$$

答え (20)

$$\textcircled{2} \quad 6 + 0.5 \times 2$$

$$6 + 0.5 \times 2 = 6 + 1$$

$$= 7$$

答え (7)

月 日 名前 (

解答例)

1 たて3 cm, 横5 cm, 高さ4 cmの直方体があります。

この直方体の高さを3倍にしたときの体積は, もとの直方体の体積の何倍になるかを考えます。

この問題の答えの求め方として, すっきりとしているのはどちらでしょうか?

直方体のたてと横の長さが決まっているとき, 直方体の体積は高さに比例します

だから, 高さが3倍になれば, 体積も3倍になります。



もと $3 \times 5 \times 4 = 60$
 高さ3倍 $3 \times 5 \times (4 \times 3) = 180$
 $180 \div 60 = 3$
 答え 3倍

2 底辺が4 cm, 高さが5 cmの三角形の三角形があります。

この三角形の高さを4倍にしたときの面積は, もとの三角形の面積の何倍になりますか。

説明しましょう。

三角形の(**底辺**)の長さが決まっているとき, 三角形の(**面積**)は(**高さ**)に(**比例**)します

だから, 高さが4倍になれば, 面積も(**4倍**)になります。

3 学力調査の問題に挑戦!

下の文の()にあてはまるものを考えます。

円があります。この円の直径の長さを2倍にします。

このとき, 直径の長さを2倍にした円の円周の長さは, もとの円周の長さの()倍になります。

答え (**2**)

月 日 名前 (

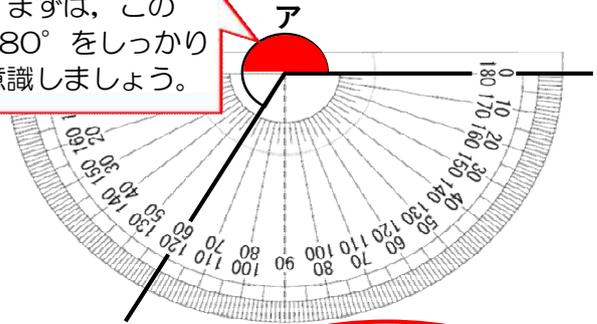
解答例

)

- 1 右の角アの大きさを分度器を使ってはかります。180 + 60 = 240で求めたのはどちらの考え方ですか？

一回り分の角度は360°になる。
角アは、その360°から必要のない120°をひけばいいので240°になる。

まずは、この180°をしっかりと意識しましょう。

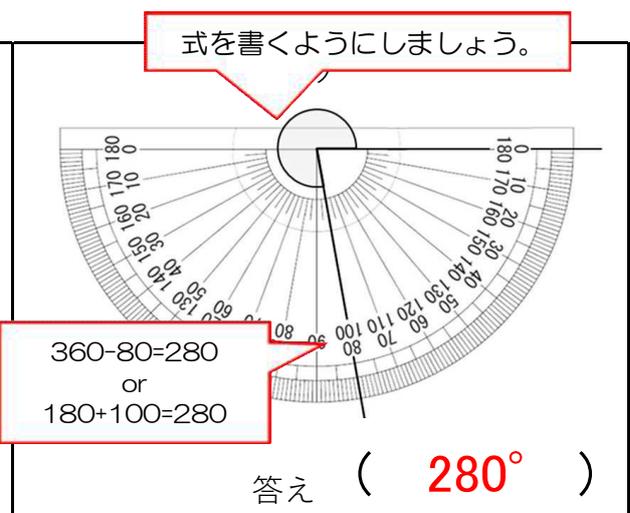
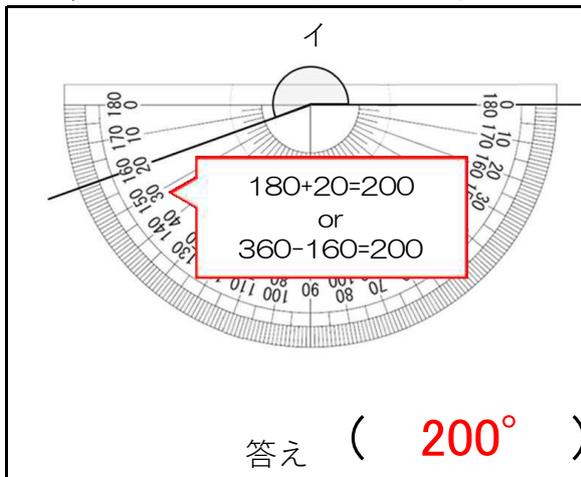


角アは、180°より大きい。
だから、180°に、こえている60°をたして240°になる。

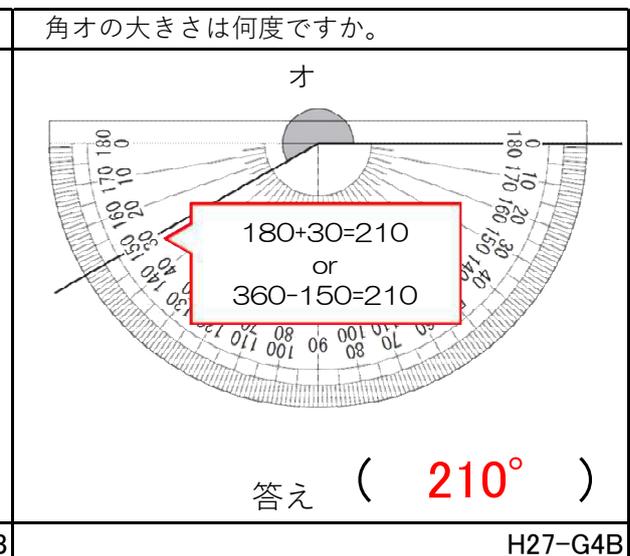
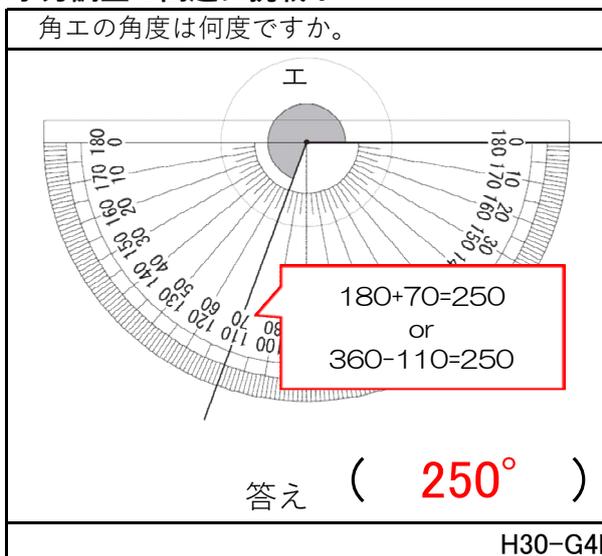
一回転が360°，半回転が180°です。



- 2 角イ、角ウの大きさは何度ですか。



- 3 学力調査の問題に挑戦！



A ぶり	がい数	〇〇〇④⑤⑥
------	-----	--------

月 日 名前 (**解答例**)

1 3568を四捨五入して百の位までのがい数にします。どちらが正しいですか？

6
~~3568~~
 百の位までの概数にするのでひとつ前の十の位を四捨五入する。
 答えは3600



四捨五入では、
 ① \ を引くこと
 ② \ より右側は全て0になることを確認するとよいです。

4
~~3568~~
 百の位までの概数にするので百の位を四捨五入する。
 答えは4000

2 四捨五入をして、がい数にしましょう。

① 千の位まで 47091 答え (47000)	② 一万の位まで 32051 答え (30000)
③ 上から2けた 1018 答え (1000)	④ 上から2けた 89561 答え (90000)

3 学力調査の問題に挑戦！

四捨五入して一万の位のがい数にしたとき、20000になる整数を、下の①から⑤までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。

① 14500	→	10000
② 15000	→	20000
③ 19500	→	20000
④ 24999	→	20000
⑤ 25000	→	30000

「すべて選ぶ」問題は、注意深く取り組みましょう。

答え (②, ③, ④)

(解答例)

月 日 名前

1 6と4の最小公倍数を求めます。どちらの求め方が正しいですか？

6の倍数 6,12,18,24,...
 4の倍数 4,8,12,16,...
 答え 12

2つの数の倍数で、最初に同じ数になるものをさがす。



$6 \times 4 = 24$
 答え 24

2つの数をかけて求める。

6の段と4の段で、最初に答えが同じになる数を探します。

単純に2つの数をかけるだけでは、最小公倍数にならないことが多いです。

2 最小公倍数を求めましょう。

① 6と9

9	9 18 27
6	6 12 18

答え (18)

② 3と18

18	18 36
3	3 6 9 12 15 18

答え (18)

③ 10と12

12	12 24 36 48 60
10	10 20 30 40 50 60

答え (60)

④ 2と3と9

9	9 18
3	3 6 9 12 15 18
2	2 4 6 8 10 12 14 16 18

答え (18)

求め方については、いろいろな方法があります。

3 学力調査の問題に挑戦！

8と12の最小公倍数を書きましょう。

12	12 24 36
8	8 16 24

答え (24)

月 日 名前 (**解答例**)

1 20 × 0.6 の計算の仕方を考えます。考え方が正しいのはどちらですか。

まず、0.6に10をかけて、20 × 6 の計算をします。
その答えを、10でわって、答は 12になります。



まず、0.6に10をかけて、20 × 6 の計算をします。
その答えに、10をかけて、答は 1200になります。

0.6を10倍して簡単な整数に直して計算しましょう。答えを10でわることを忘れずに！

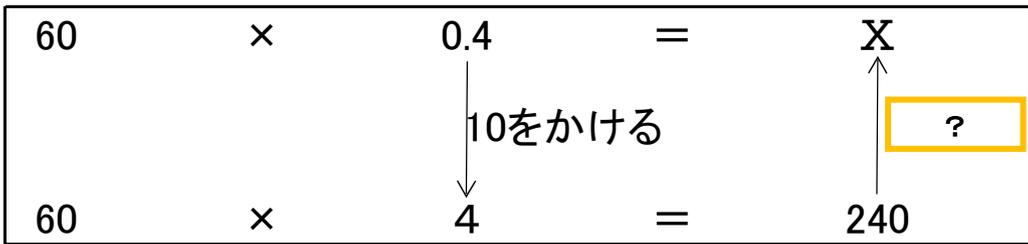
2 ()にあてはまる数を書きましょう。

① 30 × 0.2
→ 30 × (2) = (60)
(60) ÷ (10) = (6)
答え (6)

② 7 × 0.8
→ 7 × (8) = (56)
(56) ÷ (10) = (5.6)
答え (5.6)

3 学力調査の問題に挑戦！

60 × 0.4 の答えを求めるために、次のように、60 × 4 の答えを使います。



?ではどのようなことをしますか。

下のアからウまでの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- ア 10をかける
- イ 10でわる
- ウ そのまま答えにする

答え (イ)

月 日 名前 (**解答例**)

1 3.5 ÷ 0.5 の計算の仕方を考えます。考え方が正しいのはどちらですか。

まず、3.5と0.5の両方に10をかけて、35÷5の計算をします。わり算では、「わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらない」という性質があるので、答えは、7になります。



まず、3.5と0.5の両方に10をかけて、35÷5の計算をします。わられる数にもわる数にも10をかけたので、「10×10=100」の100で35÷5の答えをわるので、答えは、0.07になります。

かけ算との違いに気を付けましょう。

2 ()にあてはまる数を書きましょう。

①

$$1.5 \div 0.3 = (15) \div (3)$$

$$= (5)$$

答え(5)

②

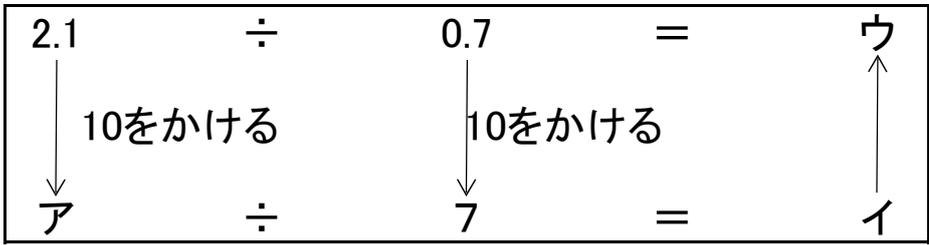
$$2 \div 0.4 = (20) \div (4)$$

$$= (5)$$

答え(5)

3 学力調査の問題に挑戦！

2.1 ÷ 0.7 を、「わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらない」というわり算の性質を使って、次のように計算します。



上の、ア、イ、ウに入る数を書きましょう。

ア (21) イ (3) ウ (3)

(解答例)

月 日 名前

1 3 ÷ 7の答えを分数で表します。どちらの表し方が正しいですか。

$3 \div 7 = 3/7$

わる数が分母になる。



$3 \div 7 = 7/3$

わられる数が分母になる。

分数の線の下の数が「分母」、線の上の数が「分子」です。間違えないようにしましょう。

2 商を分数や整数で表しましょう。また、約分できるものは、約分しましょう。

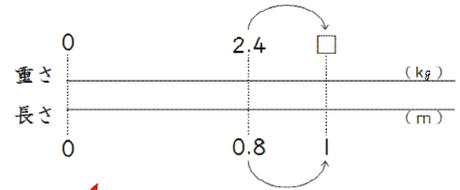
① 1 ÷ 7 答え ($\frac{1}{7}$)	② 3 ÷ 5 答え ($\frac{3}{5}$)	③ 11 ÷ 4 答え ($\frac{11}{4}$) ($2\frac{3}{4}$)
④ 3 ÷ 12 答え ($\frac{1}{4}$)	⑤ 12 ÷ 8 約分を忘れずに! 答え ($\frac{3}{2}$) ($1\frac{1}{2}$)	⑥ 18 ÷ 4 答え ($\frac{9}{2}$) ($4\frac{1}{2}$)
⑦ 9 ÷ 10 答え ($\frac{9}{10}$)	⑧ 8 ÷ 7 答え ($\frac{8}{7}$) ($1\frac{1}{7}$)	⑨ 7 ÷ 28 答え ($\frac{1}{4}$)

3 学力調査の問題に挑戦!

商を分数で表しましょう。	
① 5 ÷ 9 答え ($\frac{5}{9}$)	② 2 ÷ 3 答え ($\frac{2}{3}$)
H29-G5A	H20-G5A

月 日 名前 (**解答例**)

1 0.8 mで2.4 k gの金属のパイプがあります。
このパイプの1 mの重さを求める正しい式はどちら
ですか？



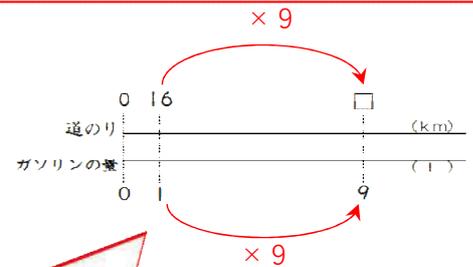
$2.4 \div 0.8$



2.4×0.8

○上下とも、右に行くほど数が大きくなります。
○矢印は口に向かってかき、上下の向きをそろえます。

2 1Lのガソリンで16 k m走る自動車があります。
この自動車は、9Lのガソリンで何k m走るでしょう。
数直線をもとに、式を作りましょう。

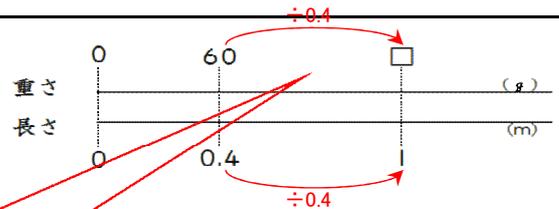


式 16×9

1のある段を見て、矢印の向きに沿った数の関係を考えましょう。

3 学力調査の問題に挑戦！

0.4 mの重さが60 gの針金があります。この針金
1 mの重さを求める式を、下の1から4までのなか
ら1つ選んで、その番号を書きましょう。



- 1 $60 + 0.4$
- 2 60×0.4
- 3 $60 \div 0.4$
- 4 $60 - 0.4$

式を作るときは、口のある段を見て、
矢印の向きの順に式にします。

同じ数同士でわれば、1になり
ます。

答え (**3**)

月 日 名前 (**解答例**)

1 ある学校の5年生の人数は80人です。アンケートではそのうち50人が「算数が好き」と答えました。算数が好きな人の割合が何%か求める式で正しいのはどちらですか？

$$80 \div 50 \times 100$$

$$= 1.6 \times 100$$

$$= 160$$

答え 160%



$$50 \div 80 \times 100$$

$$= 0.625 \times 100$$

$$= 62.5$$

答え 62.5%

100倍を忘れないよう、式を一つに表しましょう。

2 ある電車の定員は140人です。
ある日、実際に245人が乗ったそうです。
このときの乗車率は何%かを求める式を書きましょう。

問題文の中に、「く」「も」「わ」を書きこむとよいです。

く も わ

式

$$245 \div 140 \times 100$$

$$\text{く} \div \text{も} = \text{わ}$$

$$\text{わ} \times 100 = \text{百分率}(\%)$$

もとにする量は、「全部」「全体」「先に決まっている数」のことが多いよ。

比べられる量は、「一部」「部分」「後から決まる数」のことが多いです。

3 学力調査の問題に挑戦！

ある会場に子どもたちが集まりました。
集まった子どもたち200人のうち80人が小学生でした。
小学生の人数は、集まった子どもたちの人数の何%ですか。
下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 0.4%
- 2 2.5%
- 3 40%
- 4 80%

式

$$80 \div 200 \times 100$$

$$= 0.4 \times 100$$

$$= 40$$

式を必ず書きましょう。

答え (3)

A ぷり	こみぐあい	○○○○⑤⑥
------	-------	--------

月 日 名前 (**解答例**)

1 次の表は、部屋の中にいる人数と部屋の面積を表しています。

どちらの部屋がこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

ア $35 \div 7 = 5$
 イ $24 \div 5 = 4.8$

部屋の中にいる人数と部屋の面積

	人数 (人)	面積 (m ²)
ア	7	35
イ	5	24

上の計算からわかることは、どちらでしょうか？

1人あたりの面積は、5m²と4.8m²なので、イのほうがこんでいる。



1m²あたりの人数は、5人と4.8人なので、アのほうがこんでいる。

「わる数」は「“○○あたり”がついている数」です。

2 次の表は、部屋の中にいる人数と部屋の面積を表しています。

どちらの部屋がこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

ウ $10 \div 25 = 0.4$
 エ $12 \div 40 = 0.3$

部屋の中にいる人数と部屋の面積

	人数 (人)	面積 (m ²)
ウ	10	25
エ	12	40

上の計算からわかることを、次の①から④までの中から選びましょう。

- ① 1m²あたりの人数は、0.4人と0.3人なので、ウのほうがこんでいる。
- ② 1m²あたりの人数は、0.4人と0.3人なので、エのほうがこんでいる。
- ③ 1人あたりの面積は、0.4m²と0.3m²なので、ウのほうがこんでいる。
- ④ 1人あたりの面積は、0.4m²と0.3m²なので、エのほうがこんでいる。

答え (①)

わり算で「わられる数」と「わる数」の単位がちがうときには、「わられる数」の単位が答えにつきません。

こみぐあいをくらべるときは、「1m²あたりの人数が多い」または「1人あたりの面積がせまい」ほうが、こんでいるといえます。

3 学力調査の問題に挑戦！

次の表は、シートの上にすわっている人数とシートの面積を表しています。
 どちらのシートのほうがこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

ア $16 \div 8 = 2$
 イ $9 \div 5 = 1.8$

すわっている人数と部屋の面積		
	人数 (人)	面積 (m^2)
カ	16	8
キ	9	5

上の計算からどのようなことがわかりますか。次の①から④までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

① $1 m^2$ あたりの人数は、2人と1.8人なので、カのほうがこんでいる。
 ② $1 m^2$ あたりの人数は、2人と1.8人なので、キのほうがこんでいる。
 ③ 1人あたりの面積は、 $2 m^2$ と $1.8 m^2$ なので、カのほうがこんでいる。
 ④ 1人あたりの面積は、 $2 m^2$ と $1.8 m^2$ なので、キのほうがこんでいる。

答え (①)

H30-G5B・改

次の表は、シートの上にすわっている人数とシートの面積を表しています。
 どちらのシートのほうがこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

ア $12 \div 6 = 2$
 イ $8 \div 5 = 1.6$

すわっている人数と部屋の面積		
	人数 (人)	面積 (m^2)
A	12	6
B	8	5

上の計算からどのようなことがわかりますか。次の①から④までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

① $1 m^2$ あたりの人数は、2人と1.6人なので、Aのほうがこんでいる。
 ② $1 m^2$ あたりの人数は、2人と1.6人なので、Bのほうがこんでいる。
 ③ 1人あたりの面積は、 $2 m^2$ と $1.6 m^2$ なので、Aのほうがこんでいる。
 ④ 1人あたりの面積は、 $2 m^2$ と $1.6 m^2$ なので、Bのほうがこんでいる。

答え (①)

H25-G5B・改